

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/01/19

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.09	-0.02
JPY/THB	0.2889	0.0001
USD/JPY	114.61	-0.02
EUR/THB	37.45	-0.32
EUR/USD	1.1325	-0.0083
USD/CNH	6.361	0.009
SGD/THB	24.51	-0.04
AUD/THB	23.78	-0.09
USD/INR	74.58	0.34
USD Index	95.73	0.47

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.498	0.037
10Y (THB)	2.218	0.071
5Y (USD)	1.658	0.100
10Y (USD)	1.874	0.089

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,812.4	-4.1
WTI (Oil)	85.43	1.61
Copper	9,676.0	-55.0

Stock

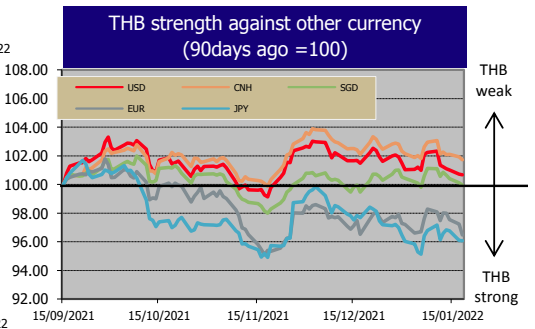
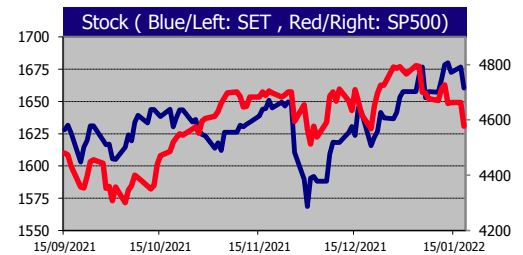
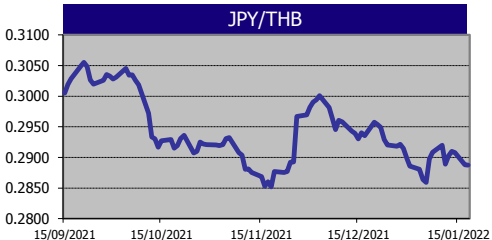
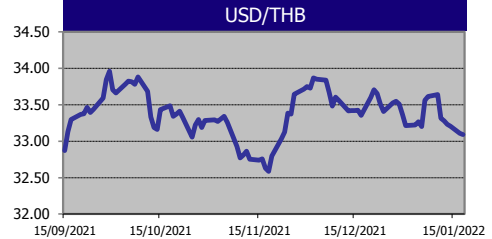
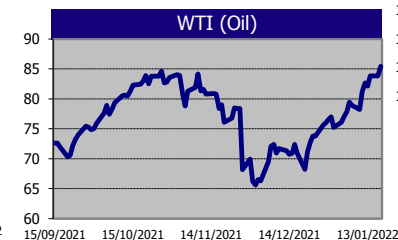
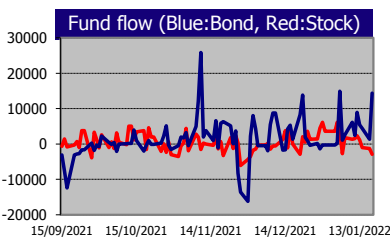
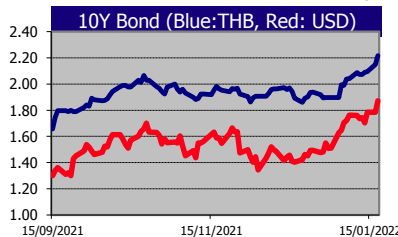
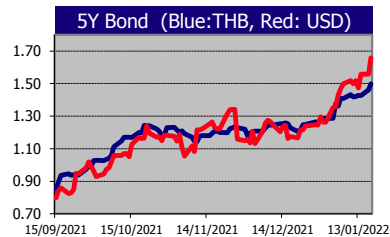
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,660.27	-16.60
NIKKEI (JP)	28,257.25	-76.27
DOW (US)	35,368.47	-543.34
S&P500 (US)	4,577.11	-85.74
SHCOMP (CN)	3,569.91	28.25
DAX(GER)	15,772.56	-161.16

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,957)	-1694.5
Bond net flow	14,364	13024.3

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは33パーツ手前で取引開始。前日海外時間の流れを継ぎ、朝方は33パーツ近辺で上値重く推移、その後はドルが買い戻されて水準を切り上げたが、人民元が対ドルで約3年半ぶり高値をつける状況下、ドルパーツの上昇は限定的。海外時間、米債利回り上昇にドルパーツも小幅上昇で反応するが、NY時間終盤には前日比とほぼ同水準で推移して引けた。

●ドル円その他

昨日のドル円は114円半ばで取引開始。日銀政策決定会合では金融政策を現状維持とし、先週末に報道された早期での政策調整の可能性が排除されたために、ドル円は一時115円台へと上昇。その後は日経平均が前日比マイナスに沈む中で114円代後半で取引される。海外時間、原油先物が上昇、米金利も上昇する展開となったが、米金利上昇を嫌気した米株安により円買いも入り易く、ドル円は114円半ばでの動きとなった。

Bangkok Dealer's Eye

FOMCを来週に控えブラックアウト期間に入っていますが、1月に入りほとんどの日で米金利上昇を目にしています。オミクロン株の拡大は、経済減速懸念よりも感染者数増による労働力不足が目立つ形となりコストプッシュインフレが強まっています。このような状況下、12月FOMCでは22年に3回の利上げを示唆していましたが、1月に入り市場では4回の利上げを織り込みに行く動きが強まり、さらには3月に利上げをする場合25bpではなく50bpの利上げを実施するのではないかという観測も出てきています。一方で、昨日の日銀金融政策決定会合後の黒田総裁の記者会見では近い将来の政策調整の可能性を明確に否定しています。日米の金融政策差は拡大する方向にあり、これが円安のサポート要因となっています。タイでは、食料品等の価格が上がりだしていますが、インフレは想定範囲内であり経済回復のためには緩和策継続が必要というのが大方の見方ですが、遅滞なくインフレ対応を進める必要もあるため、年8回から6回へと変わったタイ中銀の金融政策の変化にも注意が必要な年となるかと思えます。(塩谷)